

さくらの風

平成26年12月1日 No.8 発行

神戸市立歌敷山中学校

□下記の URL で学校の情報を発信しています。
http://www.2.kobe-c.ed.jp/uts-ms/

12月行事予定

日曜	行 事	SC	湯	湯	昇	当	リ	ム
1 月	3年実力考査 全校読書週間開始(～12日) 学級委員会 生徒会選挙立候補受付①		○	○	○			
2 火	学年協議会 専門委員会 生徒会選挙立候補受付②		○	○	○			
3 水	全校協議会 生徒会選挙立候補受付③		○	○	○			
4 木	放送読書会 生徒会選挙立候補者説明会	○	○	○	○			
5 金	1年性教育講演会		○	○	○			
6 土	グラウンドゴルフ 市ダンス発表会							
7 日								
8 月	生徒会選挙運動① 美化コンクール(～12日)	○	○	○				
9 火	生徒会選挙運動② 3年午前中授業		○	○	○			
10 水	生徒会選挙運動③ 1年防犯教室 3年午前中授業		○	○	○			
11 木	生徒会選挙立会演説会・投票	○	○	○	○			
12 金			○	○	○			
13 土	神戸市中学生の主張大会							
14 日								
15 月			○	○	○			
16 火	個別保護者会①		×	○	○			
17 水	個別保護者会②		×	○	○			
18 木	個別保護者会③	○	×	○	○			
19 金	個別保護者会④ (火5水5木5)		×	○	○			
20 土								
21 日								
22 月	大掃除		○	○	○			
23 火	天皇誕生日							
24 水	授業最終(午前中) 新旧生徒会引継会		○	○	○			
25 木	終業式(生徒会退任式) 集会・HR×2(委員選挙)		×	×	×			
26 金	冬期休業～1/6 仕事納め							
27 土								
28 日								
29 月								
30 火								
31 水	大晦日							

1月のおもな行事予定

- 1日(木) 元日
- 5日(月) 仕事始め
- 7日(水) 始業式 委員指導・週番編成
- 8日(木) 3年実力考査 学級委員会
- 9日(金) 3年カルタ会 学年協議会・専門委員会・全校協議会
- 12日(月) 成人の日 あじさいコンサート
- 15日(木) 震災20年祈念行事 PTA運営委員会
- 16日(金) 2年カルタ会
- 16日(金)・19日(月)～21日(水) 3年個別保護者会
- 23日(金) 1年カルタ会
- 26日(月) 1年ものづくり体験学習
- 30日(金) 入学説明会



「今」をたいせつに

和田 恵美子

錦織圭選手が、世界ランキング8強が競うATPワールドツアーファイナルズにアジア人として初出場し、準決勝まで進んだことは記憶に新しいと思います。錦織圭選手にスポットが当たり、テニス熱も上昇しているようですが、一方でコーチを務めるマイケル・チャンさんにも注目が集まっています。秀でた力を持つ若い選手について、まだコーチ就任前のマイケル・チャンさんはインタビューで次のように語っています。

「彼が自分自身や自分のプレーに本当に自信を持っているかどうかまだ分かりませんが、自信がプレーに表れるようになれば、彼はもう一段レベルアップするはずです。大切なのは自分を信じることです。最高の選手に勝てる、しかも大きな試合でも倒せると信じることです。」

日常の練習の中で自分のプレーに自信を持つことはさほど難しくありません。しかし、ここぞという大きな試合やこ一番という勝負の場面で自信をもつということは容易くはありません。

では自信を持つためにどうするのでしょうか。コーチとして就任したマイケル・チャンがはじめに行った練習は中高生の部活のように厳しかったと言います。またその内容は、世界に通用するスーパープレーの練習ではなく、基本的なものだったといえます。その後のインタビューでコーチの教えで心に残っていることはと問われた錦織選手は、「練習でどれだけ自分を追い込むかによって、試合を楽に戦える」ということだと答えています。素晴らしい素質もたゆまぬ努力によって開花するのだと、あらためて感じました。

話は変わりますが、最近見た番組に、時間をさかのぼり、やり直したい地点に戻って、人生をやり直すというドラマがありました。悪い結果を知っているのだから、不幸にならないように策を練るのですが、必ずしもうまくいかないというお話で、初めに望んだハッピーエンドではなく、違う視点でのハッピーエンドとなってお話が終わるところに心地よさを感じました。古くは映画などにもあるシチュエーションですが、過去に戻ってあれこれ策を講じてもうまくいかないというお話が多いように思います。結局は「いま」を懸命に生きることが大切ということでしょうか。

私が漫画の「エースをねらえ」に夢中になっていたころ、世界大会のセンターコートに進むテニスプレーヤーが出てくるとは思いませんでした。時代は変わり、人々の夢が現実となりました。中学校のみなさんが世の中に出て社会を担うころには、今は「夢のまた夢」と思われることが実現しているかもしれません。だからこそ、みなさんに「今」を大切に生きてほしいと思います。

どの学年にとっても大きな行事や学年の取り組みがあった2学期が終わりようとしています。1年生は厳しい夏を越え、行事の多い秋を過ごし、部活動や学習も含め中学校生活にずいぶん慣れました。2年生は連合音楽会やトライやる・ウィーク等の学年行事を立派にやり終えることができました。3年生は、学校の顔として、大きな行事を成功へと牽引し、今まさに自分の未来を見据えて進路を切り拓く時を迎えました。ぜひ、がんばった自分を素直に褒めてあげて、さらに成長するために何が必要かを見つめてほしいと思います。もしかしたらそれは、かつての錦織選手がマイケル・チャンコーチから教わったことのように、とても基本的なことかもしれません。街中に流れるクリスマスソングにワクワクしながらも、描いた夢の実現のために「今」を大切に、足もとを見つめる年の瀬であってほしいと願っています。

音楽コンクール・文化発表会を終えて

● 5組のみんなとの思い出

3年
音楽コンクールで、5組は金賞をいただいた。5組は「運動一筋!!」というイメージだったけれど、音コンに向けてもとても盛り上がり、いつのまにかみんな「いい歌を歌おう!」という雰囲気になっていた。練習では、初めはうるさすぎてなかなか始まらない状態だった。しかし、本番が近づくとつれ、指揮者やパートリーダーなどに関係なく呼びかけるようになってきた。

私は、初めて実行委員になった。ピアノの伴奏では、間違えたりしたこともあり、みんなに心配をかけたこともあった。そんなときも、クラスのみんなはいつも明るく励ましてくれたり、力強く支えてくれたりした。

本番は今まで一番いい歌になり、気持ちよくせいっぱい歌いきることができた。

5組の金賞が決まったとき、私はうれしすぎて、みんなへの感謝の気持ちがあふれてきて、涙が出た。文化発表会でも、5組らしい歌を、心をこめて届けられたと思う。行事が終わっていくたびに、達成感と同時に寂しさを感じるようになった。でも、自由曲「手紙」の歌詞のように、「15才」の5組のみんなの思い出は一生なくなるらない。一日一日を大切に、これからもみんなと「今を生きて」いきたい。5組のみんな、すてきな思い出をありがとう。

● 文化発表会を終えて

3年
今年の文化発表会は、私にとって特別な行事になった。生徒会劇の台本を初めて読んだとき、「キレイのココロって何だろう。」と考えさせられた。そして、劇を見てくださる方々にも考えてほしいと思った。練習の中で、一つ一つの表情やしぐさ、口調などを工夫して、それぞれのキャラクターを作り、気持ちを表現しなければならないと教わった。劇とはとても奥が深く難しい、と思うと同時に、だからこそやりがいがあると思った。練習を重ねるたびに、みんなの演技力が磨かれていくのが分かった。どのせりふにも、気持ちがこもっていった。生徒会のみんなで毎日必死に練習した。

本番、あれこれと考える間もなく動いた。20分は、とても短かった。文化発表会が終わり片付けをしていると、一人の女の子が、「劇、すごよかったよ!ありがとう!」と、声をかけてくださった。私は、伝わったんだ、と思った。やってよかった、という達成感を感じた。

トライやる・ウィークを終えて

トライやる・ウィークを通して

2年
僕は、五色塚古墳(輝かすみが丘)のみなさんにお世話になった。五色塚古墳は小さい頃から何度か行ったことがあったので、ぜひ行きたいと思ったからだ。

初日、「どのような仕事をするのだろうか」と思い、ワクワクしていた。事務所に入ると、事務所の方が温かく迎えてくれた。僕はとても嬉しかった。そして、初仕事が始まった。階段掃除だ。階段には風で飛ばされた草がとりにくい場所に落ちていた。草がたくさん落ちている階段を掃除するのはしんどく、時間がかかった。階段掃除を終え、階段を見るとすごくきれいだった。僕はこのトライやる・ウィークで、学校での勉強や部活動とは違う大きな達成感があった。

これからはどんなこともあきらめず、人のために頑張れる人になりたいと思った。

トライやる・ウィークを終えて

2年
私は、トライやる・ウィークで霞ヶ丘婦人会に行きました。行く前はどんなことをするのかも分からず、不安を抱えたままスタートすることになりました。しかし、1日目の活動に臨んで、その不安は吹き飛びました。それは、婦人会の方が、とても丁寧に仕事を説明してくださり、優しく接してくださったからです。どんな時でも笑顔で地域の方々のために活動する婦人会の方々を見て、感動しました。

婦人会では、いろいろな仕事をしたり、話を聞かせていただいたりしました。その中でも一番心に残っているのは、婦人会の方の体験談でした。命を助けてくれた地域の方々のために、今私ができる精一杯のことをしようと思って、この地域で活動しているという話です。この話を聞いて私は、これからたくさんの人に必要とされるような人になりたい、と思いました。そのために今私ができることは、「誰とでも笑顔で接する」ということだと思います。これから心がけていきたいです。いい体験ができたトライやる・ウィークでした。

指定学校の変更について

神戸市では、住所地により決められた校区の小・中学校(指定学校)に通学していただいています。しかし、相当な理由がある場合は、指定学校の変更ができる場合があります。(例えば、「年末に隣の校区に転居するが、3月に卒業なので、思い出のある今の学校で卒業したい。」など)

指定学校の変更を希望される場合は、学校へご相談ください。

なお、指定学校に関する詳しい基準や手続については、神戸市ホームページに掲載しています。

【神戸市ホームページ
http://www.city.kobe.lg.jp/child/school/area/kouku/】

表彰の記録

六甲ライナー写生大会
入賞 1年

第36回兵庫県中学校総合文化祭書写部門
特選 3年
入選 2年
1年

中学生の主張垂水大会
入選 3年

垂水区ソフトテニス研修大会
1年女子の部 優勝 1年
3位 1年

第11回垂水区中学校生徒作品展(絵画)
優秀賞 3年

2年
1年

第66回兵庫県幼・小・中造形教育展
特選 2年
入選 3年

2年
1年